

# イネの成苗移植栽培での イネミズゾウムシの寄生密度と減収程度

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

## 1 部門名

水稲 - 水稲 - 病害虫防除

## 2 担当者

岸 正広・松木伸浩・山田真孝・三田村敏正

## 3 要旨

有機栽培で用いられる成苗移植栽培でのイネミズゾウムシによる被害解析事例は少なかったことから、成苗移植栽培でのイネミズゾウムシ成虫の寄生密度がイネの収量に及ぼす影響について検討した。

イネミズゾウムシの寄生密度が1株当たり2頭までは減収は見られなかった(図)。さらに寄生密度が高まると減収傾向となったが、その程度は1株当たり8頭であっても約7%(2010~2012年平均)であった。

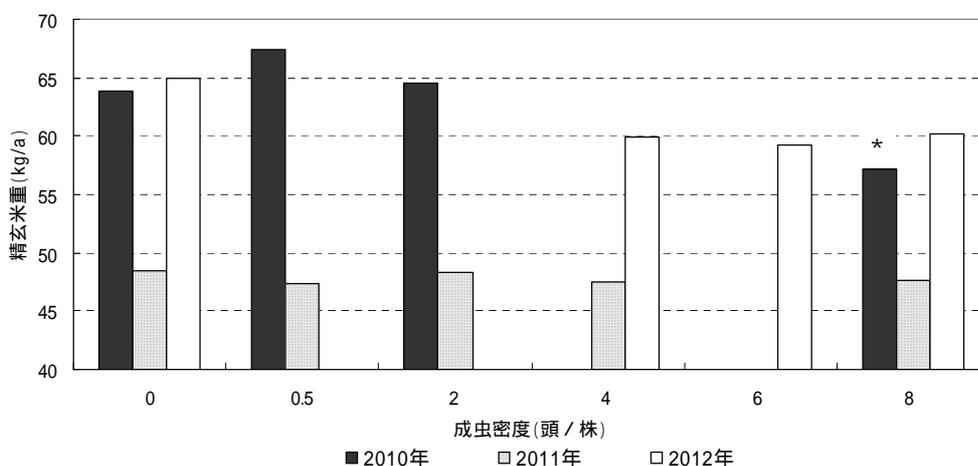


図1 イネミズゾウムシ成虫密度と収量との関係

注1: 成虫密度はイネ(成苗移植)24株当たり。

注2: 棒の上に付した\*印は、調査年ごとに0頭/株区との有意な差があることを表す。

注3: 0.5~6頭/株区において棒のない年は、区を設けていない。

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成21年度~24年度

(2) 研究課題名 省資源型農業の生産技術体系の確立(有機農業型)

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

(1) 平成19年度~24年度センター試験成績概要